

2021年05月10日 9面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

支店長／日本道路北信越支店長・堀吉伸氏／風通しの良い職場つくる



中部、関西支店が長く、前職は四国支店長。東日本の支店勤務は初めて。着任早々、新潟を襲った強く冷たい季節風の洗礼を受け、やがて訪れる冬の厳しさに立ち向かう覚悟を固めたという。

「工事、営業、製造販売の各部門の力を結集して、安全施工で品質の良いものをお客さまに届けることが当社の使命。それには良い話も悪い話も含めて意見を言い合うことのできる風通しの良い雰囲気をつくらねばならない。先頭に立って風通しの良い職場環境づくりに取り組む」

堀吉伸氏

「当社は廃ペットボトルを有効活用した高耐久アスファルト舗装、歩きやすさ・走りやすさを追求して開発した『快適歩走』をはじめ、多くの独自工法を持つ。価格だけでなく技術力で他社と差別化する力は十分にある」と語り、技術営業に力を入れる方針を示す。

官庁では東日本高速道路会社、国土交通省を中心に受注活動を展開する。民間は、物流施設、工場、学校、スポーツ施設などに対し、独自工法の採用を提案する。

「石川県内の北陸新幹線の新駅周辺の開発についてはアンテナを高くして情報を収集し、受注につなげたい」

高校時代はボート部で活躍。学校近くの木曽川でボートをこいで心技体を鍛えた。趣味は夏の山歩き。

(4月1日就任。岐阜県立岐阜工業高校土木科卒。岐阜県各務原市出身、59歳) (ほり・よしのぶ)

記事ID : 3202105100912

---

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます